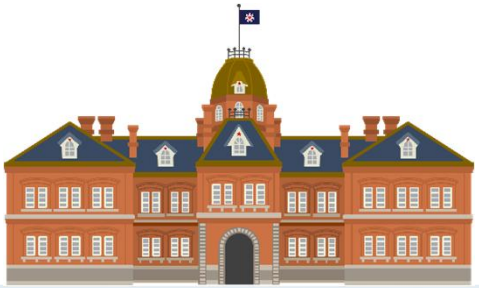
北海道

資料1

新たな地域医療構想について



令和8年9月9日（水）第3回地域医療構想専門部会

北海道檜山振興局保健環境部保健行政室

地域医療構想策定に向けた取組等

- 地域医療構想は、都道府県が、中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保するため、医療機関の自主的な報告等を踏まえ、地域の関係者との協議を行い地域の実情に応じて策定するもの。
- 85歳以上の高齢者の増加や人口減少が更に進む2040年とその先を見据え、全ての地域・全ての世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制の構築に向け、住民を含め地域の関係者の理解を得ながら取組を進める。

具体的な取組

○　医療提供体制構築のための議論の単位や、必要病床数の運用が可能となる単位として、人口20万人以上を基本としつつ、**地域の実情を踏まえ**、構想区域を設定。

○　医療機関機能報告等に基づき、都道府県及び各構想区域に設置する地域医療構想調整会議において、地域ごとの医療機関機能（急性期拠点機能、高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、専門等機能）の確保や医療機関機能を踏まえた医療機関間の役割分担等について、地域の関係者による協議を実施。

○　地域医療構想の取組による効果等を踏まえた、構想区域ごとに、病床機能区分（高度急性期・急性期・包括期・慢性期）別の2040年の病床の必要量（必要病床数）を推計。

○　都道府県は地域医療介護総合確保基金を活用し、病床の機能分化・連携に加え、医療機関の連携・再編・集約化に向けた取組を支援。さらに、自主的な取組だけでは進まない場合、医療法に定められている権限の行使を含めた役割を適切に発揮することで、地域医療構想の実現を図る。

※　地域医療構想は、病床の削減や医療機関の統廃合ありきではなく、地域での自主的な協議を踏まえて取り組むもの。

参考：厚生労働省「地域医療構想策定ガイドライン参考資料」を基に作成

2040年に向けた地域医療構想

■背　景

○　2040年頃に向けて、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者の増加、人材確保の制約、地域差の拡大が想定される。
○　増加する高齢者救急・在宅医療の需要への対応、医療の質や医療従事者の確保、地域における必要な医療機能の維持が求められる。

・入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携、人材確保を含めたあるべき医療提供体制の実現に資する地域医療構想を策定。
・2040年やその先を見据え医療機関の役割分担を明確化し、医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化を推進

■分野ごとの取組

入院医療

持続可能な急性期医療の確保

・急性期の医療需要の見込み等を踏まえ、急性期症例の集約化や、手術・救急医療の役割分担等について協議

高齢者救急の受入体制の整備

・高齢者救急の考え方を踏まえた、救急の実施基準への反映や入院早期からのリハビリ等の推進

外来医療

外来医療提供体制の維持

・外来医療の需要見込みや地域の資源等を踏まえ、休日・夜間を含めた提供体制の整備やアクセス確保の取組を検討

在宅医療

在宅医療の受け皿の整備

・在宅医療、介護保険施設、療養病床を一体的に捉え受け皿を整備
・多職種連携の取組等の推進

介護との連携

医療と介護の複合ニーズへの対応

・慢性期の医療需要を一体的に把握し、介護保険施設の活用方向性を協議
・医療と介護の相互理解の推進

人材確保

地域における医療人材の確保

・大学病院本院と連携し、地域医療構想全体を踏まえた人的協力について協議
・看護師等の人材確保の方向性を反映

■具体的な施策

構想区域の見直し

医療機関の連携・再編・集約化など医療提供体制構築のための議論や、必要病床数の運用の単位として、人口20万人以上を基本としつつ、地域の実情を踏まえ柔軟に設定

医療機関機能報告の新設

医療機関機能の確保の協議を通じて将来の医療提供体制の確保の取組を推進

高齢者救急・地域急性期機能
・高齢者をはじめとした救急搬送の受入
・入院早期からのリハビリ・退院調整等の実施

急性期拠点機能
・人口20万～30万に１つを目安に確保
・手術等の医療資源を多く要する医療を集約して実施

在宅医療等連携機能
・地域での在宅医療の提供
・他の施設等と連携した24時間対応等の実施

専門等機能
・集中的なリハビリテーション、中長期にわたる入院医療、有床診療所の担う地域に根ざした診療、一部の診療科に特化した地域ニーズに応じた診療を提供

医育及び広域診療機能（大学病院本院）
・都道府県と連携した人的協力　・広域的に担うべき医療の提供、人材の育成

病床機能報告・必要病床数の見直し

病床機能区分について回復期を包括期とした上で、2040年の必要病床数について地域医療構想の取組等を踏まえた推計を実施し、病床機能の分化・連携を推進

参考：厚生労働省「地域医療構想策定ガイドライン参考資料」を基に作成

地域医療構想の策定・推進に向けたスケジュール

年度	地域医療構想の策定と取組の進め方
～２０２７年度 上半期頃	**現状・課題の把握** ・基本となるデータとして人口推計、現在の病床数、人材等の医療資源、必要病床数等の将来の見込み等を関係者で共有する。
	区域の設定 ・現在の構想区域について、必要病床数の議論をするという観点や、医療機関機能の確保を行うという観点を踏まえて、構想区域の設定について検討し、必要に応じて見直し ➢医療機関の連携・再編・集約化等、医療提供体制構築のための議論 ⇒人口２０万人以上を目安としながら検討 ➢必要病床数の運用 ⇒区域の人口や医療機関数、流出入等を踏まえて設定 ・設定した構想区域における必要病床数を算出する
	設定した区域の課題の把握 ・入院医療をはじめとした医療提供や人材の確保についての地域における課題をデータに基づき把握し、当該地域で中心となる課題や都道府県全体で取り組むべき課題や目的を設定
～２０２８度末	**取組の決定** ・遅くとも2028年度までに、急性期拠点機能を報告する医療機関を含めた医療機関機能の設定など、課題に応じて、対応案を検討・決定する。 ・その際、病床数等だけでなく、働き方の改善も含めた医療従事者の確保や医療機関へのアクセス等の様々な要素を踏まえた案を複数設定し協議を行う。具体的には、医療提供体制への影響、医療へのアクセス、医療の担い手の確保等の観点に係るメリット・デメリットを比較考量し、対応案について協議の上、取組方針を決定し、地域医療構想を策定する。
～２０３５度	**取組の推進** ・2040年を見据えた医療提供体制について、2035年を目途に、一定の成果を確保する。

構想区域・必要病床数の設定

医療機関機能の設定 ※急性期拠点機能の数は２０２７年上半期

外来・在宅・介護との連携・人材確保

地域医療構想・本文

（※）精神医療における地域医療構想ガイドラインは、国において2026年度中に策定予定。

地域医療構想策定協議の進め方（イメージ）

北海道庁

必要に応じて「論点提起」を行う。

北海道総合保健医療協議会
地域医療専門委員会
（北海道地域医療構想調整会議）

- 構想区域や医療機関機能の設定等に関する案（考え方）の作成・提案
- 各構想区域の地域医療構想調整会議における意見を踏まえ、地域医療専門委員会としての最終整理　など

構想区域の設定等に関する案（考え方）の提案

地域医療構想調整会議としての意見の報告

地域医療構想調整会議等
※構想区域ごと

- 地域医療専門委員会の案（考え方）に関する意見のとりまとめ・報告
- 地域医療構想の推進に関する具体の取組内容の検討　など

地域住民の意見の反映
⇒　地域医療専門委員会・地域医療構想調整会議への参画、地域住民説明会の開催　など

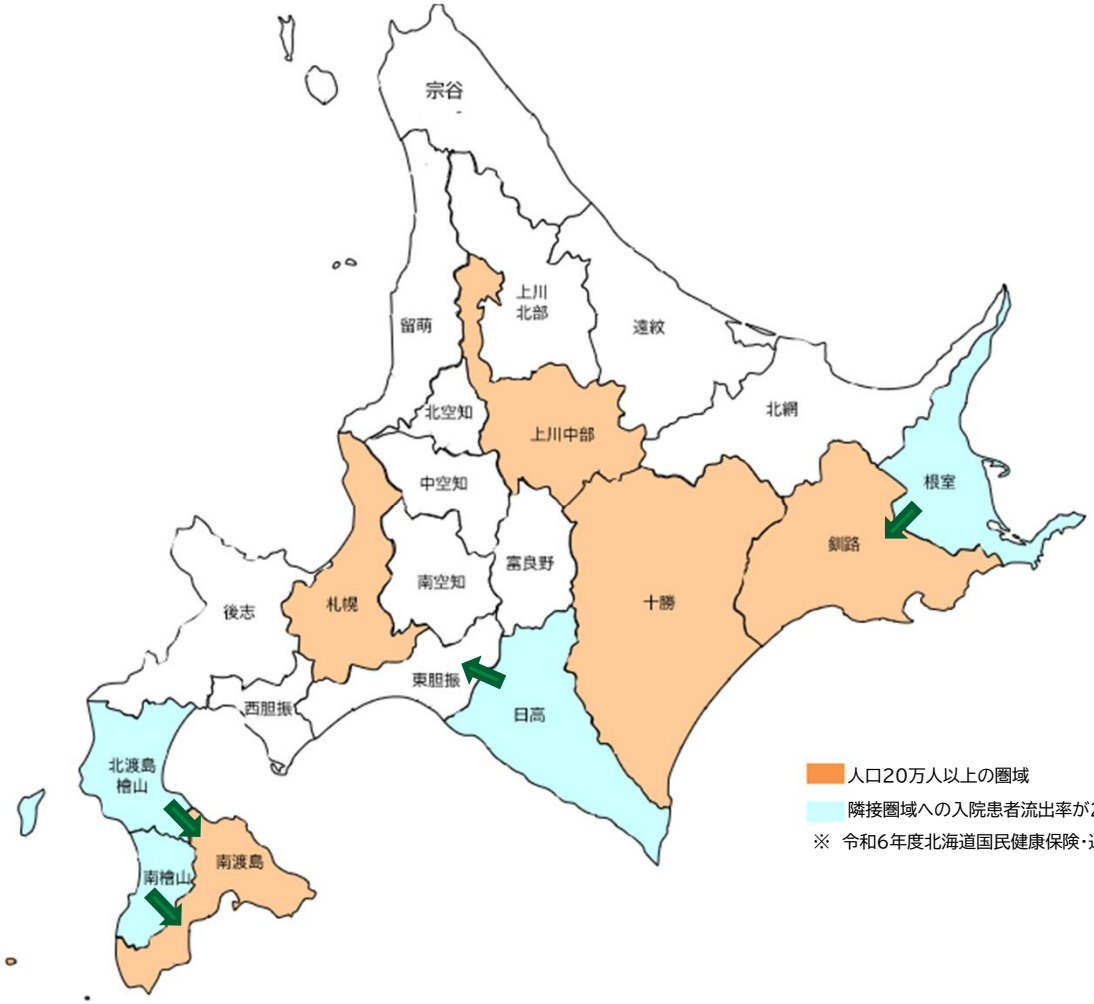
（※）地域医療構想（案）は医療審議会に諮問し、答申を受ける。

地域医療構想について（検討事項と協議の場）

○都道府県・構想区域単位の調整会議を基本としつつ、既存の協議の場、市町村や介護関係者との連携も組み合わせ協議
○今後、都道府県が地域住民の理解を深めるため、積極的な情報公開や調整会議等への住民の参加を一層進めることが求められるため、都道府県調整会議に住民の意見を反映させられるような者の参加。
○地域医療構想調整会議における現状の把握、課題の共有、対応案の検討や決定に向けた各段階において、都道府県が案を公表（説明会の開催やパブリックコメントの実施等）

区分	具体的な検討事項	道の現行協議体
全体的な事項・広域的な連携に関する事項	医療提供体制についての都道府県の方針、大学病院との連携に関する事項	・総合保健医療協議会 地域医療専門委員会 ・地域医療構想調整会議協議会 ・医療審議会
構想区域の見直し、医療機関機能、病床機能に関する事項	構想区域ごとに確保すべき医療機関機能及び広域的な観点で確保すべき医療機関機能（医育及び広域診療機能）に着目した、医療機関機能の確保	・総合保健医療協議会 地域医療専門委員会 ・地域医療構想調整会議
外来医療	不足する医療提供のための方策 （外来の機能分化・連携、診療所の継承支援、医師の派遣）	・総合保健医療協議会 地域医療専門委員会 ・地域医療構想調整会議
在宅医療、介護との連携	・慢性期の医療需要に対する受け皿整備の検討 （在宅医療、介護保険施設 、療養病床） ・ 患者の状態悪化防止や必要時の円滑な入院に向けた医療機関と介護施設等の具体的な連携 ・ 不足する医療提供のための方策（在宅医療研修、医療機関や訪問看護の在宅対応力の強化、24時間対応の中小病院等による支援、巡回診療の整備） ・ DtoPwithNによるオンライン診療や医療DXによる在宅医療の効率的な提供に向けた方策	・総合保健医療協議会 地域医療専門委員会 ・地域医療構想調整会議 ・保健福祉圏連携推進会議 ・高齢者保健福祉圏域連絡協議会　等
医療従事者確保	・区域における不足・都道府県内の偏在に対する方策（大学病院本院、関係団体と連携した取組を含む）	・医療対策協議会 ・総合保健医療協議会 地域医療専門委員会　　等

北海道の二次医療圏の状況



令和7年度 国勢調査(速報値)

圏域	人口	圏域	人口
南渡島	**329, 623人**	**上川中部**	**355, 271人**
南檜山	18,002人	上川北部	53,700人
北渡島檜山	30,887人	富良野	36,438人
札幌	**2, 381, 989人**	留萌	37,111人
後志	183,136人	宗谷	55,583人
南空知	138,313人	北網	192,918人
中空知	88,831人	遠紋	58,615人
北空知	26,312人	**十勝**	**315, 393人**
西胆振	159,702人	**釧路**	**203, 892人**
東胆振	197,270人	根室	64,948人
日高	57,485人	合計	4,985,419人

・人口20万人以上の圏域は、入院患者の流出率が5%未満であり、ほぼ圏域内で完結
※厚生労働省の「地域医療構想及び医療計画等に関する検討会」では、構想区域毎に人口20～30万人に1つを目安に「急性期拠点機能」を1か所確保することとされている。
・「南檜山、北渡島檜山、日高、根室」の４圏域は、隣接する圏域への入院患者流出率が20～50%超となっている。

将来推計人口（全体）

	２０２５年		２０３０年		２０３５年		２０４０年	
	推計人口	国勢調査	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比
南渡島	332,064	329,623	307,907	92.7%	283,545	85.4%	259,252	78.1%
南檜山	18,697	18,002	16,437	87.9%	14,315	76.6%	12,386	66.2%
北渡島檜山	30,219	30,887	27,163	89.9%	24,235	80.2%	21,456	71.0%
札幌	2,384,597	2,381,989	2,352,076	98.6%	2,304,753	96.7%	2,240,953	94.0%
後志	181,807	183,136	165,556	91.1%	149,947	82.5%	135,072	74.3%
南空知	139,452	138,313	126,573	90.8%	114,129	81.8%	102,289	73.4%
中空知	89,725	88,831	81,282	90.6%	73,211	81.6%	65,625	73.1%
北空知	26,397	26,312	23,588	89.4%	20,950	79.4%	18,518	70.2%
西胆振	160,582	159,702	148,109	92.2%	135,544	84.4%	123,291	76.8%
東胆振	197,079	197,270	188,536	95.7%	179,321	91.0%	169,602	86.1%
日高	57,869	57,485	52,731	91.1%	47,851	82.7%	43,179	74.6%
上川中部	362,128	355,271	344,317	95.1%	326,061	90.0%	307,281	84.9%
上川北部	54,824	53,700	49,943	91.1%	45,301	82.6%	40,976	74.7%
富良野	36,047	36,438	33,078	91.8%	30,239	83.9%	27,540	76.4%
留萌	37,968	37,111	33,790	89.0%	29,856	78.6%	26,215	69.0%
宗谷	56,334	55,583	51,488	91.4%	46,788	83.1%	42,225	75.0%
北網	193,299	192,918	180,197	93.2%	166,942	86.4%	153,668	79.5%
遠紋	59,280	58,615	53,978	91.1%	48,929	82.5%	44,092	74.4%
十勝	317,042	315,393	303,303	95.7%	289,113	91.2%	274,399	86.5%
釧路	205,090	203,892	189,619	92.5%	174,115	84.9%	158,591	77.3%
根室	66,566	64,948	61,885	93.0%	57,217	86.0%	52,607	79.0%
合計	5,007,066	4,985,419	4,791,556	95.7%	4,562,362	91.1%	4,319,217	86.3%

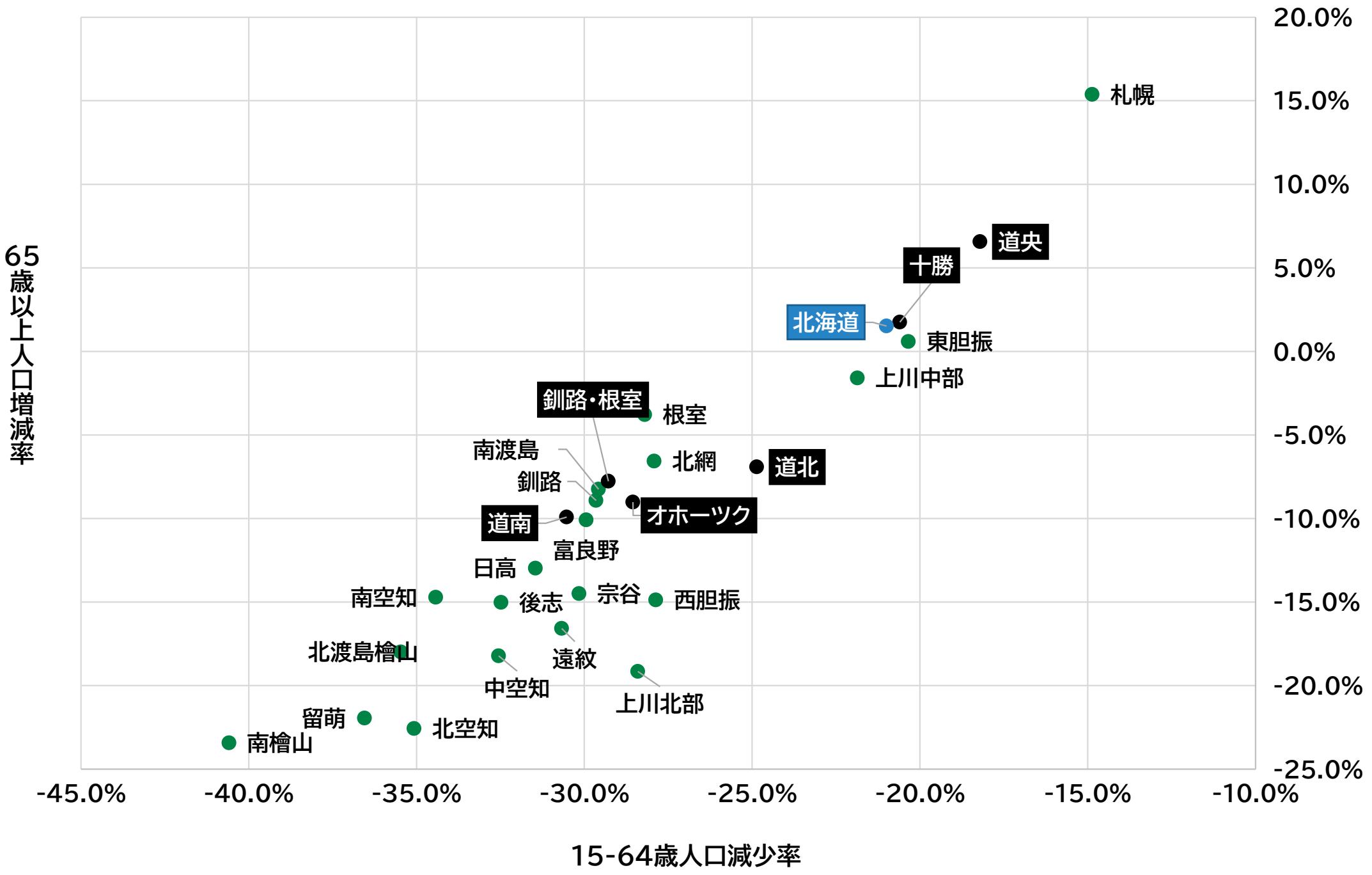
将来推計人口(15～64歳)

	２０２５年		２０３０年		２０３５年		２０４０年	
	推計人口	国勢調査	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比
南渡島	176,283	－	161,566	91.7%	144,767	82.1%	124,143	70.4%
南檜山	9,121	－	7,916	86.8%	6,695	73.4%	5,419	59.4%
北渡島檜山	15,279	－	13,550	88.7%	11,861	77.6%	9,859	64.5%
札幌	1,429,060	－	1,382,765	96.8%	1,316,698	92.1%	1,216,625	85.1%
後志	94,160	－	84,755	90.0%	74,753	79.4%	63,573	67.5%
南空知	70,265	－	62,316	88.7%	54,746	77.9%	46,072	65.6%
中空知	44,646	－	39,873	89.3%	35,376	79.2%	30,112	67.4%
北空知	12,306	－	10,881	88.4%	9,390	76.3%	7,990	64.9%
西胆振	83,055	－	76,920	92.6%	69,609	83.8%	59,908	72.1%
東胆振	110,218	－	104,559	94.9%	97,812	88.7%	87,796	79.7%
日高	30,866	－	27,816	90.1%	24,715	80.1%	21,156	68.5%
上川中部	195,320	－	184,194	94.3%	171,041	87.6%	152,615	78.1%
上川北部	28,625	－	26,064	91.1%	23,501	82.1%	20,494	71.6%
富良野	19,502	－	17,681	90.7%	15,770	80.9%	13,662	70.1%
留萌	18,954	－	16,658	87.9%	14,390	75.9%	12,026	63.4%
宗谷	30,751	－	27,809	90.4%	24,949	81.1%	21,476	69.8%
北網	103,998	－	95,034	91.4%	86,149	82.8%	74,959	72.1%
遠紋	30,841	－	27,676	89.7%	24,673	80.0%	21,380	69.3%
十勝	177,086	－	166,879	94.2%	155,495	87.8%	140,607	79.4%
釧路	110,755	－	100,736	91.0%	90,463	81.7%	77,916	70.3%
根室	37,692	－	34,378	91.2%	30,995	82.2%	27,062	71.8%
合計	2,828,783	－	2,670,026	94.4%	2,483,848	87.8%	2,234,850	79.0%

将来推計人口(65歳～)

	２０２５年		２０３０年		２０３５年		２０４０年	
	推計人口	国勢調査	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比
南渡島	126,666	－	122,275	96.5%	118,041	93.2%	116,225	91.8%
南檜山	8,247	－	7,559	91.7%	6,854	83.1%	6,316	76.6%
北渡島檜山	12,507	－	11,708	93.6%	10,811	86.4%	10,258	82.0%
札幌	709,433	－	744,002	104.9%	775,959	109.4%	818,562	115.4%
後志	72,480	－	68,216	94.1%	64,221	88.6%	61,600	85.0%
南空知	57,497	－	54,718	95.2%	51,314	89.2%	49,041	85.3%
中空知	37,993	－	35,577	93.6%	32,860	86.5%	31,071	81.8%
北空知	12,010	－	11,040	91.9%	10,181	84.8%	9,300	77.4%
西胆振	63,545	－	59,533	93.7%	55,819	87.8%	54,100	85.1%
東胆振	66,452	－	66,355	99.9%	65,667	98.8%	66,846	100.6%
日高	21,377	－	20,427	95.6%	19,292	90.2%	18,605	87.0%
上川中部	130,402	－	128,814	98.8%	127,102	97.5%	128,332	98.4%
上川北部	21,185	－	19,683	92.9%	18,170	85.8%	17,129	80.9%
富良野	13,008	－	12,526	96.3%	12,049	92.6%	11,697	89.9%
留萌	15,952	－	14,759	92.5%	13,473	84.5%	12,453	78.1%
宗谷	20,425	－	19,458	95.3%	18,208	89.1%	17,465	85.5%
北網	70,929	－	69,784	98.4%	67,249	94.8%	66,276	93.4%
遠紋	23,055	－	21,835	94.7%	20,363	88.3%	19,234	83.4%
十勝	106,587	－	107,443	100.8%	106,909	100.3%	108,449	101.7%
釧路	75,930	－	73,881	97.3%	70,905	93.4%	69,159	91.1%
根室	21,974	－	21,891	99.6%	21,378	97.3%	21,144	96.2%
合計	1,687,654	－	1,691,484	100.2%	1,686,825	100.0%	1,713,262	101.5%

将来推計人口((再掲)85歳～)

	２０２５年		２０３０年		２０３５年		２０４０年	
	推計人口	国勢調査	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比	推計人口	2025推計比
南渡島	24,896	－	26,682	107.2%	31,899	128.1%	32,814	131.8%
南檜山	1,853	－	1,821	98.3%	1,972	106.4%	1,982	107.0%
北渡島檜山	2,721	－	2,678	98.4%	2,986	109.7%	3,135	115.2%
札幌	131,163	－	154,721	118.0%	202,046	154.0%	222,085	169.3%
後志	15,294	－	15,891	103.9%	18,265	119.4%	18,099	118.3%
南空知	12,791	－	12,989	101.5%	14,730	115.2%	14,964	117.0%
中空知	8,708	－	8,863	101.8%	9,763	112.1%	9,738	111.8%
北空知	2,957	－	2,980	100.8%	3,210	108.6%	3,074	104.0%
西胆振	13,481	－	14,953	110.9%	17,195	127.5%	16,844	124.9%
東胆振	12,057	－	13,896	115.3%	17,558	145.6%	19,134	158.7%
日高	4,458	－	4,589	102.9%	5,262	118.0%	5,530	124.0%
上川中部	26,733	－	29,661	111.0%	35,864	134.2%	37,346	139.7%
上川北部	4,787	－	4,792	100.1%	5,230	109.3%	5,112	106.8%
富良野	2,866	－	2,878	100.4%	3,278	114.4%	3,307	115.4%
留萌	3,454	－	3,579	103.6%	3,902	113.0%	3,921	113.5%
宗谷	4,003	－	4,167	104.1%	4,800	119.9%	5,048	126.1%
北網	14,736	－	15,746	106.9%	18,998	128.9%	20,034	136.0%
遠紋	5,085	－	5,073	99.8%	5,661	111.3%	5,670	111.5%
十勝	22,368	－	24,446	109.3%	29,256	130.8%	31,466	140.7%
釧路	14,653	－	15,850	108.2%	18,965	129.4%	20,356	138.9%
根室	4,070	－	4,527	111.2%	5,262	129.3%	5,785	142.1%
合計	333,134	－	370,782	111.3%	456,102	136.9%	485,444	145.7%

地域別将来人口予測(15-64歳と65歳以上の増減・2025→2040)